

# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (R3-10号)

令和3年9月6日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和3年9月1～3日に伊勢湾、三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

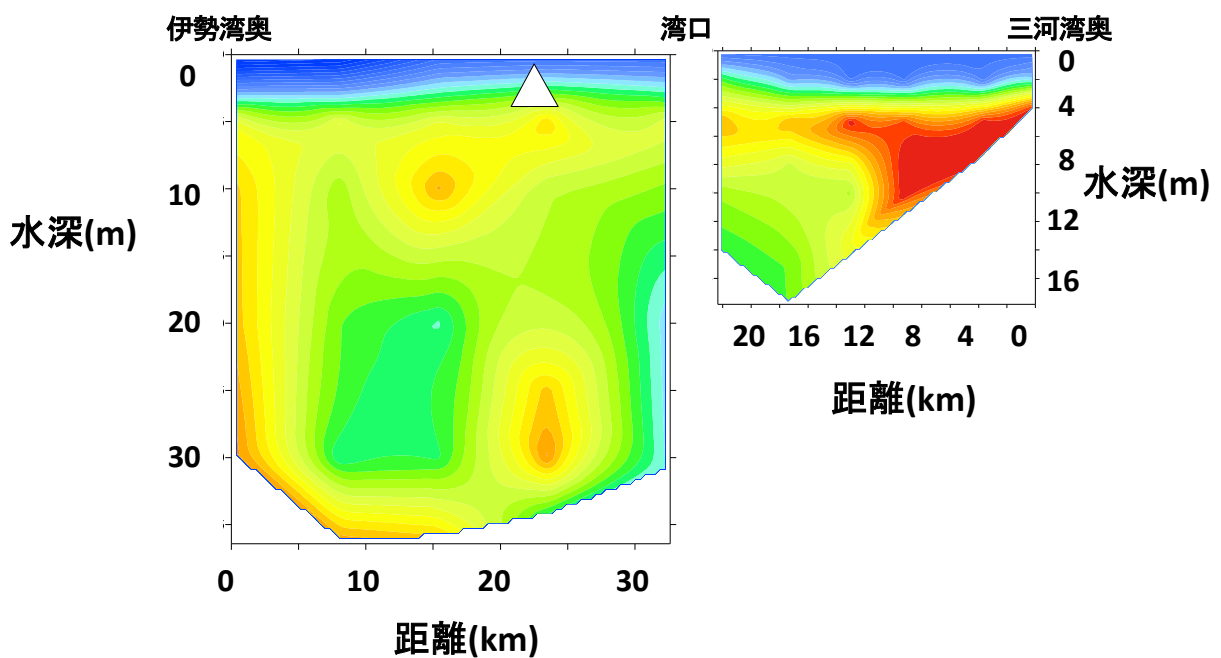
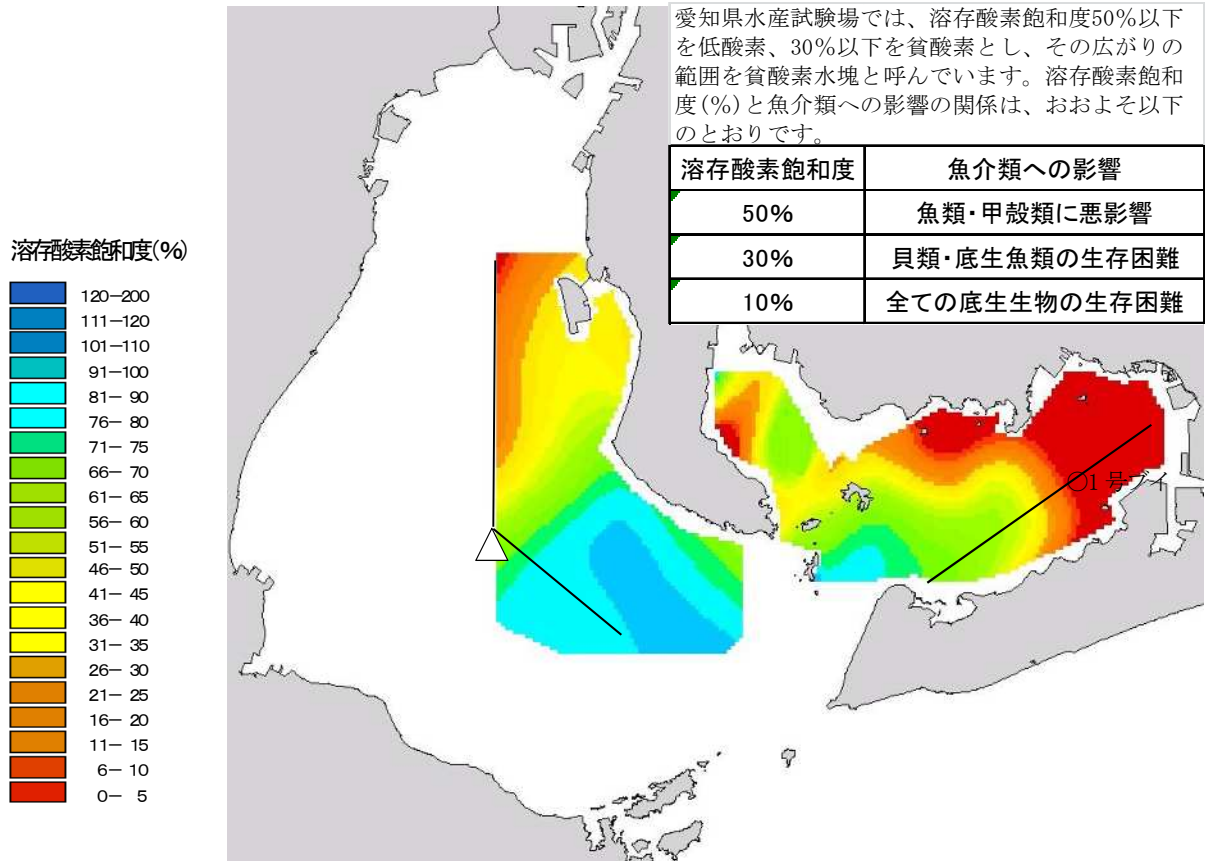


図1 伊勢湾(9月1日)、三河湾(9月2、3日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「へいわ」調査)

### 伊勢湾

9月1日の調査結果を図1に示しました。伊勢湾中央部に貧酸素水塊が形成されています。一方で、湾南部から湾口部では溶存酸素飽和度が60%以上の水塊が見られます。鉛直断面図では、湾口部から湾南部の底層に溶存酸素飽和度が高い水塊が流入しており、水深30m付近では貧酸素水塊が持ち上げられています。湾口部から湾南部にかけて底層塩分が高かったことから、外海水が流入していたことが考えられます。

現在、伊勢湾では外海水の流入などにより、溶存酸素飽和度の鉛直構造が複雑になっています。このため、強風に伴う苦潮の発生や、外海水の流入について注視する必要があります。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	26.6~28.6	21.8~28.0
底層	22.3~24.6	31.1~34.0

### 三河湾

9月2、3日の調査結果を図1に示しました。渥美湾では北部から湾奥にかけて、知多湾では河和沖で溶存酸素飽和度30%以下の貧酸素水塊が確認されました。一方で、湾口部から渥美湾中央部にかけて溶存酸素飽和度が30%以上の水塊が見られました。鉛直断面図では、湾中央部で貧酸素水塊が持ち上げられています。

三河湾海況自動観測ブイ（蒲郡沖、1号ブイ）のデータを見ると、8月下旬から9月初旬に貧酸素水塊は海底上約5mの範囲で確認されました。9月3日以降、高塩分水の流入により貧酸素水塊が持ち上がり、海面付近の溶存酸素飽和度が低下していることが観察されました。

貧酸素水塊の層が厚くなっていることから、強風に伴う苦潮の発生に注意が必要です。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	27.8~29.2	17.7~27.2
底層	23.7~27.5	27.6~33.3

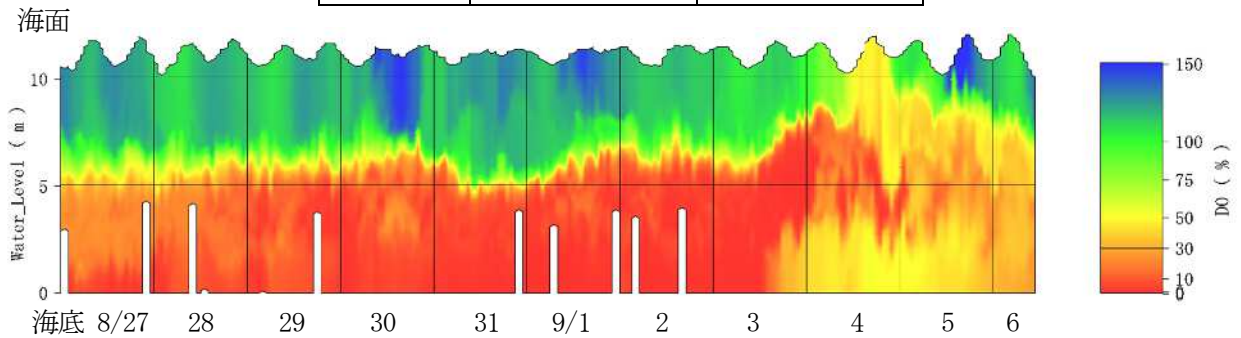


図2 溶存酸素飽和度 (DO) の経時変化 (三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ)

### 参考

前回調査時の伊勢湾、三河湾底層の溶存酸素状況

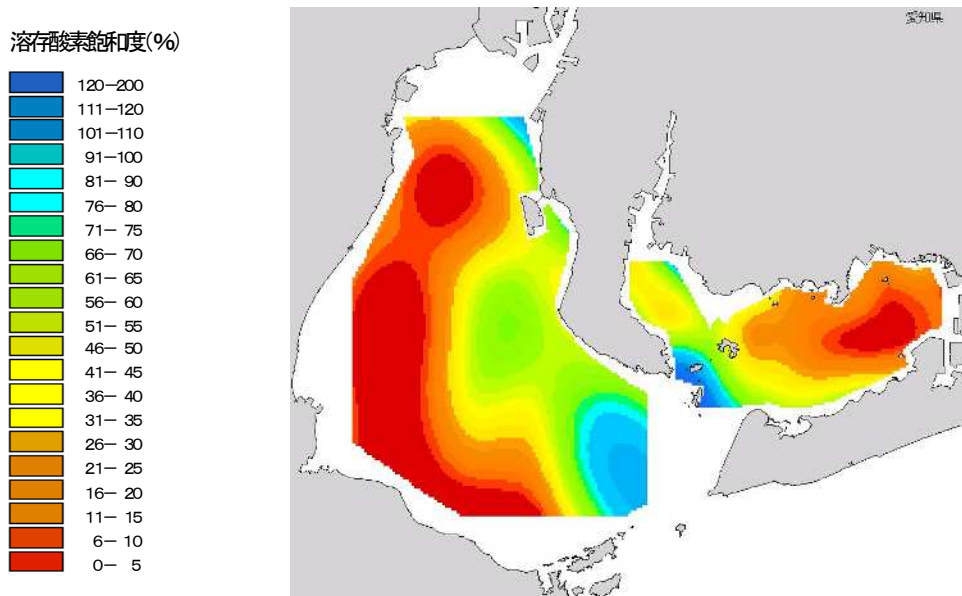


図3 伊勢湾 (8月24、25日)、三河湾 (8月24日)